

## 臨床医学系

教員数	教員等数 (人)	教授 34 (32)	助教授 43 (47)	講師 118 (112)	助手 18 (15)	技官〔準研〕 — (—)
	異動状況 (人)	退職・転出 15 (29)	昇任 8 (17)	採用	学内	1 (1)
研究活動	研究発表 (件)	論文・著書発表数		学会発表数		
		国内	国外	国内	国外	
		738 (850)	531 (651)	1,485 (2,051)	236 (334)	
	受賞数(件)	17 (29)				
	研究費等		採択件数	採択率(%)	金額(千円)	
		科学研究費	68 (78)	35.7(39.5)	199,000(202,171)	
		学内プロ	56 (60)	36.6(42.5)	48,320(49,406)	
奨学寄附金件数・金額		393件	317,914千円	(450件	344,510千円)	
受託研究件数・金額		14件	36,861千円	(13件	12,930千円)	
受託研究員	1人 (2人)					
施設・設備						

・ ( ) は前年度の数値を示す。

### 1 臨床医学系の活動

- 平成16年国立大学法人化を前に新体制に移行できるよう、運営上の諸制度の見直しを行った。
- 自己評価のために、全教官の研究業績を刊行し、本年度は特に、開学30周年を記念して、全業績集のCD-ROM版を作成した。
- 高度先進医療開発の一環として、translational research推進のため、細胞治療・再生医学研究センターの概算要求を行った。
- 研究環境の整備のため、医学3学系で、実験室の整備・充実を行った。
- 外部資金を積極的に導入した。
- 陽子線医学利用センターは、医用機器・設備承認のための治験を終了し、高度先進医療申請へ向け準備中である。
- 遺伝子治療の承認を受け、諸準備を完了した。

### 2 自己評価と課題

- 21世紀COEに対応できる医学系及び他学系・センターとの共同研究の推進
- 地域連携研究の促進
- 外部資金・研究費の獲得の面で他学系との研究交流の促進
- 地域医療機関との連携の拠点となるよう各診療研究グループのステーションの設置・充実並びに地域の医療機関との連携強化
- 遺伝子治療・臓器移植・再生医療の活性化・充実
- 難病の遺伝子診断システムの構築・充実
- 人間総合科学研究棟・新学類研究棟を含めた医学地区研究環境の再整備・充実
- 法人化における新研究体制(中期計画)の具体化
- 若手臨床研究者の育成